



4本柱で地域経済を活性化

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

本年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、約1億7900万円が配分され、議会においても所管委員会から全員協議会そして本会議の中で、使い道を議論してきました。

まずは、住民への生活支援と地域経済を活性化するために事業者への経済的支援を優先的に行うことに

なりました。さらに、感染症予防の側面と将来のデジタル・キャッシュレス社会推進の両面を見据え、またデジタル弱者への対応を含めた有効的な支援策を打ち出しています。

残額は約6600万円あり、今後も行政そして議会とで知恵を出しながら使い道を検討していきます。

水道基本料金を3か月分減免

5826万円

多くの住民が家庭で過ごす時間が増え、水道使用量が増加し、各世帯の負担となっています。また、多くの事業者は収入が減り地域経済への打撃が懸念されています。

そこで水道基本料金を8月請求分から3か月間減免し、住民および事業者への経済的支援が行われます。

水道を使っていないご家庭には同等額のごみ袋を支給します



ごみ袋の申請先
環境農林課 ☎934-2226

プレミアム付き地域商品券を増額

1500万円

毎年ご好評いただいているプレミアム付き地域商品券は、昨年度に引き続きプレミアム率が20%となっています。

本年度は住宅リフォーム工事券も併せて、総額1億8000万円に増額するとともに、**はがきでの申し込みによる抽選方式**を採用しました。



使用期限は
1月31日まで

PayPayでキャッシュレス推進

3724万円

全国各地でキャッシュレス決済の導入が進む中、町独自の取組として、「宇美町のお店を元気に！最大20%戻ってくるキャンペーン」を活用し、町内における消費を喚起するとともに、店舗におけるキャッシュレス決済の導入を推進します。

また、利用される方への導入支援として、町内各所で初心者向けPayPay使い方講座が開催される予定です。

将来は、紙ベースの地域振興券と併用して、電子地域振興券の発行も視野に入れての運用が期待されています。



初心者向けスマホ講座

60万円

コロナ禍で外出する機会が極端に減り、特に高齢者の孤立化が懸念されています。

また、スマホに切り替えたくても使い方が難しく、買い替えに二の足を踏んでいる方も多いという声をお聞きし、初心者向けのスマホ講座が実施されます。

「これで安心してスマホが使える」、「講座があると聞いてスマホに買い換えた」という声も聞こえています。

好評をいただいている超初心者コースは既に満員となり、今後は活用講座や10月から新たに超初心者向けの講座が開催される予定です。

